

学年							小笠原村立小笠原中学校 美術科 1年 年間指導計画										
小学校						中学校											
1	2	3	4	5	6	①	2	3									
月	単元名	レタリング(8)				系単元性の	小学校5・6年学習指導要領図画工作「A表現(1)イ絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから、表したいことを見付けることや、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながらどのように主題を表すかについて考えること」からの発展となる。										
4 ・ 5 ・ 9	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫										
	○「明朝体とゴシック体で『永』を描く」A表現 【ねらい】 生活の中のデザインのよさや美しさ、造形要素、表現方法などに関心をもち、意欲的に美術の基礎的能力を身に付けようとする。全体的なバランスを意識して、美しく表現していく能力を身に付ける。レタリングの知識を学ぶことで、生活の中のデザインの意味を理解する。 【内容】 ・説明。基準線を引く。見本に骨格を記入する。見本をよく観察して骨格を入れる。(1) ・明朝体とゴシック体に点画をあてはめる。(7)						つますきやすいポイント		①鉛筆のコントロールができず、強い線で描いてしまい、画用紙を傷めてしまう。 ②描く位置をつかめない。 ③見本をよく観察しないで、できた気になってしまう。 ④個別指導を待つために、列が出来てしまい、待ち時間が長くなる。								
							工夫・手立て		①鉛筆の持ち方を工夫する。縦に持つのではなく、横に持つことで、筆圧をコントロールさせる。 ②個別指導を繰り返し、教員の横で見本と比べることで、位置のズレに気付かせる。基準線を座標としてとらえることを意識付ける。 ③自分自身で気付くことが出来るよう、じっくりと時間をかけさせる。 ④早く終わった生徒や、得意な生徒など、班の中で互いに見合って、気付きが生まれるようにする。								
	評価規準																
知識・技能		レタリングの各特徴を理解している。(知) 明朝体とゴシック体の特徴を理解し、カーブや直線などを美しく表現している。(技) はみでないでムラなく美しく着色が出来る。(技)				思考・表現・判断		点画の太さや位置のバランスを意識して調整して表現されている。(発表)				主体的に学習に取り組む態度		より美しい表現ができるために、練習を行い、丁寧にその技法を身に付けている。(態表) 自己評価により、きちんとした振り返りと、次への課題を考えている。(態表)			
		定期考査・行動観察・作品						行動観察・作品						行動観察・作品・自己評価			
月	単元名	絵の具の使い方 レタリングの墨入れ(7)				系単元性の	小学校5・6年学習指導要領図画工作「A表現(2)イ絵や立体、工作に表す活動を通して、表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと」からの発展となる。										
6 ・ 7	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫										
	○「絵の具の使い方」レタリングの着色」A表現 【ねらい】 ポスターカラーの使用法を学び、美しく着色できる技術を身に付ける。溝引きの技法を身に付ける。平塗りの技法を身に付ける。 【内容】 ・道具の名称を知る。道具の使い方を知る。絵の具を適量の水で溶く。溝引きを練習する。(1) ・溝引きテストをする。(1) ・スケッチブックに鉛筆で枠を引く。溝引きをし、その中を平塗りする。溝引きと平塗りを練習する。平塗りテストをする。(3) ・レタリングに墨入れをする(2)						つますきやすいポイント		①絵の具の調節がうまくいかない。 ②溝引きの線がうまくいかない。								
							工夫・手立て		①個別指導を充実させ、水の増減を指導する。 ②中指をはさむ、溝引き棒の下の方を持つ、溝引き棒を立てる等、個別に指導する。								
	評価規準																
知識・技能		正しい道具の使い方を理解している。(知) ムラなく美しく着色することができている。(技) 同じ太さでまっすぐな線を引くことができる。(技)				思考・表現・判断		枠からはみ出ないように、またムラのないように、丁寧に美しく着色しようとする。(態表) 自己評価により、きちんとした振り返りと、次への課題を考えている。(態表)				主体的に学習に取り組む態度		行動観察・作品・自己評価			
		行動観察・実技テスト															

学年										
小学校						中学校				
1	2	3	4	5	6	①	2	3		
小笠原村立小笠原中学校 美術科 1年 年間指導計画										
月	単元名	絵画の見方を学ぶ(1)				系単元性の	小学校5・6年学習指導要領図画工作「B鑑賞(1)ア 親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること」からの発展となる。			
7	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫				
	○絵画の見方を学ぶ「アルノルフィニ夫妻の肖像」B鑑賞					①自分なりの視点をもつことが難しい。				
	<p>【ねらい】</p> 美術文化や文化遺産等に対する関心を高め、美術を愛好し、心豊かな生活を創造していこうとする。感性や創造力を働かせてよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、創造力の豊かさなどを感じ取り味わったり、理解や見方を深めたりする。 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の美術館の画像を見て、関心を高める。 ・どんな場面が描かれていると思うか、初見での意見を述べる。 ・「絵画の基本情報(作品名・作者名・収蔵美術館名等)」を学ぶ。 ・作品の中の気になる点を班で見つける。 ・作者が工夫している点の説明を聞く。 ・「絵画を見る」とはということかを考え、まとめる。 					つまずきやすいポイント				
						工夫・手立て	①授業の中で考えられるポイントをいくつか述べ、記述の手立てとする。			
評価規準										
知識・技能	「アルノルフィニ夫妻の肖像」の歴史的背景や作者について理解し、作品の制作意図等について理解する。(知)				思考・表現・判断	「アルノルフィニ夫妻の肖像」について自ら考えを深め、自分なりの考え方をもち、表現することができる。(態鑑)				
知識・技能	定期考査				思考・表現・判断	ワークシート・定期考査				
月	単元名	鑑賞レポート(0.5)				系単元性の	1学期の授業「絵画の見方を学ぶ」において絵画鑑賞に触れ、作家が作品の中にもどのような意図をもつて作品作りをしているかを知った。この課題では、授業で学んだ絵画の基本情報をもとに、自分で調べ、自分なりの考えをもつ方向に発展させる。			
7	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫				
	○夏休みの宿題レポート「気になる作家を調べてみよう」B鑑賞					①調べたこと、感じたことや考えたことが整理できない。				
	<p>【ねらい】</p> 美術文化や文化遺産等に対する関心を高め、美術を愛好し、心豊かな生活を創造していこうとする。感性や創造力を働かせてよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、創造力の豊かさなどを感じ取り味わったり、理解や見方を深めたりする。 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見本を見て、レポートの内容を理解する。 ①調べたこと ②スケッチ ③感じたことや考えたこと 					つまずきやすいポイント				
						工夫・手立て	①調べたこと、感じたことや考えてことがきちんと積み分けできるように、ワークシートに明確に表示する。			
評価規準										
知識・技能	丁寧に美しく描写することができる。(技)				思考・表現・判断	考えたことや感じたことから、作品に対して自分なりの考えをもち、レポートにまとめる。(発鑑)				
知識・技能	ワークシート				思考・表現・判断	ワークシート				
知識・技能					思考・表現・判断	美術作品に関心をもち、その作品等について調べたものをまとめ、考えを深める。(態鑑)				
知識・技能					思考・表現・判断	ワークシート				

学年										小笠原村立小笠原中学校 美術科 1年 年間指導計画									
小学校					中学校														
1	2	3	4	5	6	①	2	3											
月	単元名		ポスター制作(0.5)			系単元性の	1学期の授業「絵の具の使い方」において、アクリルガッシュの使い方を学んだ。その知識や技術を活かし、作品制作をする。												
7	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫													
	○夏休みの宿題「ポスター制作」A表現					①ポスターなのに、絵画表現になってしまう。													
	【ねらい】 視覚伝達を理解し、テーマの伝達のための試行錯誤をする。感性や想像力を働かせて、ポスターデザインをし、美しい作品を制作する。					つまずきやすいポイント													
	【内容】 ・「視覚伝達」について学ぶ。 ・作業の手順について学ぶ。					工夫・手立て					①自分の描きたいものを描くのではなく、「伝える」ためのものであることを指導する。								
評価規準																			
知識・技能		テーマを伝えるための図柄を、わかりやすく美しく表現している。(技)			思考・表現・判断		テーマを伝えるために、発想豊かにデザインし、的確な色を選択して着色することができている。(発表)			主体的に学習に取り組む態度		テーマを伝えるためのアイデアを深め、丁寧に制作しようとしている。(態表)							
		作品					作品					作品							
9	単元名		色彩の学習(8)			系単元性の	小学校5・6年学習指導要領図画工作「A表現(1)イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから、表したいことを見付けることや、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えること」の発展となる。												
	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫													
	○色彩の学習【デザイン】A表現 「色彩についての学習」(2) 「色相環」(6)					①混色によって彩度が落ちてしまう。 ②隣に塗った色が乾いていなくて混ざってしまう。													
	【ねらい】 色彩の三要素(彩度・明度・色相)を正しく理解して、表現できる。感覚的に色をとらえ、それを正しく表現できる。					つまずきやすいポイント													
【内容】 ・スライドで、身の回りの色彩について考え、興味関心を高める。色の三要素について学ぶ。(2) ・アクリルガッシュで色相環を制作する。(6) 混色は3色まで 白・黒・茶は使わない 周囲を溝引きしてから中を平塗りする 修正する					工夫・手立て					①混色する色を選ぶときに、色相の離れていない色を選ぶように指導する。机間指導で彩度が落ちていると判断したときは、色を作り直しさせる。 ②色を順番に塗らずに、ひとつとばして塗っていくように指導する。									
評価規準																			
知識・技能		色彩の三要素に関わることを理解している。(知)			思考・表現・判断		感覚的に色をとらえ、正確に表現している。(発表)			主体的に学習に取り組む態度		枠からはみ出ないように、またムラのないように、丁寧に美しく着色しようとする。(態表) 自己評価により、きちんとした振り返りと、次への課題を考えている。(態表)							
		定期考査					行動観察・作品					行動観察・作品・自己評価							

学年							小笠原村立小笠原中学校 美術科 1年 年間指導計画				
小学校				中学校							
1	2	3	4	5	6	①	2	3			
10	11	単元名	平面構成(10)			系単元性の	1学期に学習した「レタリング」絵の具の使い方、2学期に学習した「色彩の学習」を統合的に利用して、自己の作品制作を行う。				
学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫					
○「絵文字」【デザイン】A表現						①アイデアが思いつかない生徒がいる。 ②アイデアを出すのにその後の作業の時間を使ってしまい、作品が時間内に終わらないことがある。					
【ねらい】 前課題で学んだことを生かして表現活動に取り組み、その喜びを味わい美術を愛好していこうとする。豊かに発想し構想する基礎的能力を身に付け、形や色彩の構成を工夫し、美しい表現をする。						つまずきやすい					
【内容】 ・ピクトグラム等、社会で使用されている絵文字についての学習と作業内容の説明(1) ・アイデアスケッチ(2) ・下描き(3) ・着色(4)						①参考作品を見せて、考えるポイントを示す。単純なアイデアしか出なかったとしても、表現で工夫できるようにアドバイスをする。 ②自分が納得できるアイデアが出なかったとしても、時間で切って進めさせる。放課後の時間でフォローをする。					
工夫・手立て											
評価規準											
知識・技能		道具の使い方や、構成の方法などを理解して、正しく表現できる知識を学んでいる。(知) 道具の使い方を工夫して、モチーフの表現が的確かつ美しく作品制作できている。(技)		思考・表現・判断		表現意図をもち、発想豊かに色や模様を選択をし、表現されている。(発表) デザインされた文字から、伝達の効果と美しさなどを感じ取り、作者の表現の意図や工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。(発鑑)		主体的に学習に取り組む態度		発想・構想の能力や基礎的技能を身につけ、丁寧に作品制作ができている。(態表) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく文字に込められた表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(態鑑)	
定期考査・行動観察・作品		定期考査・行動観察・作品		行動観察・作品・定期考査		行動観察・作品・定期考査・自己評価					
12	1	2	3	単元名	遠近法と鉛筆デッサン(10)			系単元性の	2年生の1学期に行う「一版多色刷木版画」で遠近法を利用した作品制作をするので、その制作につながる学習を行う。		
学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫					
○色彩の学習【デザイン】A表現						①作図ができない生徒がいる。					
「遠近法の学習」(3) 「鉛筆デッサン」(7)						つまずきやすい					
【ねらい】 遠近法の知識と技術を学ぶことで、表現に厚みを加え、ものの見方を深める。デッサンに対する知識と技術を学ぶことで、表現に厚みを加え、ものの見方を深める。デッサンを学ぶことで、表現に対する意欲を高める。道具の扱いに気を配り、安全に使用することができる。						①机間指導でわかっていない生徒にアドバイスをする。班の中でわかっていない生徒がわかっていない生徒に教え合いをさせる。補習を行ってサポートをする。					
【内容】 ・遠近法の学習(3) 遠近法の成立・線遠近法(1~3点透視図法)の演習・空気遠近法等 ・鉛筆デッサン(7) 鉛筆の削り方・立方体のデッサン・円柱のデッサン						工夫・手立て					
評価規準											
知識・技能		用具の使用方を理解し、正しく表現できる知識を学ぶ。遠近法の考え方と、その表現方法を理解することができるか。(知) 道具をうまく利用し、鉛筆の色や方向の違いで、的確に明度や面の違いを表現している。輪郭線を意識して表現することができる。(技)		思考・表現・判断		明度や面の変化を想像し、その違いを表現している。(発表) 多くの作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫について考えるなどして、美意識を高め、美術文化への見方や感じ方を深めている。(発鑑)		主体的に学習に取り組む態度		面や明度を捉え、丁寧に制作することができる。(態表) 美術の創造活動の喜びを味わい、目ざした作者の表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(態鑑)	
定期考査・行動観察・作品		定期考査・行動観察・作品		行動観察・作品・定期考査		行動観察・作品・定期考査・自己評価					